

PTA よこはま

第168号



横浜市P連HPの
2次元コード

発行日/2021年7月7日 発行者/横浜市PTA連絡協議会 横浜市西区花咲町6-145 横浜花咲ビル3階 編集/2020年度 常置広報委員会

横浜市長賞



瀬谷小4年



上瀬谷小6年



元街小2年

横浜市教育長賞



駒岡小5年



城郷小1年



万騎が原小3年

よこはまファミリー写生大会は、毎年山下公園や新横浜公園などで開催され、多くの参加者でにぎわっていましたが、第38回の本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、横浜市内の小学校・特別支援学校からの応募形式で行われました。

また、6月12日(土)に横浜市教育会館で行われる予定となっていた表彰式と横浜市民ギャラリーでの入賞作品の展示会も中止となりました。関係者や入賞者の方々からは、「来年は、通常の屋外でのファミリー写生大会を実施したい」「楽しみにしていた表彰式や展示会が中止となって残念です」との声も聞かれました。

なお、特別賞受賞作品は準備ができ次第、横浜市PTA連絡協議会のHPに掲載いたします。



〈審査の様子〉



〈審査員の先生方〉

第38回

よこはまファミリー写生大会

ファミリー写生大会 審査コメント

横浜市小学校図画工作研究会 会長 江口和良先生

コロナ禍で子どもたちにも厳しい状況が続いていますが、自分の表現に向き合う時間ができ、それが作品に現れ良い時間になったのではないのでしょうか。また、絵を描いたり物を作ったりする時間を欲していたんだと感ずることができました。こういう機会をいただき感謝しています。

事業研修委員会 橋本委員長

初めての試みでしたが、応募総数が約3,000作品あり大変嬉しく思っております。図画工作研究会の先生方をはじめ各学校校長先生、また事業研修委員の皆さんのご協力をいただき、無事に開催することができました。ありがとうございました。

図画工作研究会委員の 校長先生方

・1年生の元気でかわいらしい絵から6年生とは思えないほど繊細に描かれた絵などさまざまな作品に触れる事ができました。
・今年は作品数が多く、お子さんののびのびとした絵に触れる事ができ、幸せな気持ちになりました。ぜひ皆さんもおうちで、絵を描いたり、見るということをしてほしいです。

べんてる ご担当者様(協賛)

このような形での開催は初めてでしたが、想像していた以上に素晴らしい写生大会になったのではないかと思います。

2021年度 横浜市PTA新任役員研修会 ～オンライン配信～

初めてのPTA役員



横浜市PTA新任役員研修会がオンライン配信にて開催されました。

第一部は横浜市教育委員会より『家庭・地域・学校のよりよい連携・協働をめざして』をテーマに、横浜市がめざす子ども「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」を学校だけでなくPTAや地域が一体となり、社会全体で支える重要性和、それを担う地域学校協働本部についての講演が行われました。

第二部では、市P連役員により横浜市PTAの基本情報や任意性、個人情報の取扱いなどについて説明がありました。

第三部はPTA役員経験者による事例紹介で、これからの活動のヒントが多数発表されました。

- ◆小学校部会 横浜市立小山台小学校 PTA 元会長 倉根美帆さん
- ◆中学校部会 横浜市立港南中学校 PTA 2020年度会長 和田嘉一さん
- ◆高等学校部会 横浜市立横浜総合高等学校 PTA 会長 中村亜美さん
- ◆特別支援学校部会 横浜市立盲特別支援学校 PTA 東隆幸さん

今年度の研修会は従来の集合研修とは異なり、PTA役員であれば配信期間中に、何度でも視聴可能となりました。参加する場所も問わず、より多くの皆様に情報発信でき、共通理解を図ることができた有意義なものとなりました。

2021年度 横浜市PTA連絡協議会 役員・会計監査



〈前列 左から〉
副会長：石塚 慶和(旭区さちが丘小学校)
副会長：青柳 寛子(磯子区梅林小学校)
会長：秋好 直樹(泉区下和泉小学校)
副会長：竹原 浩太郎(都筑区茅ヶ崎東小学校)

〈後列 左から〉
書記：島田 潤(緑区中山中学校)
書記：中丸 道江(戸塚区南戸塚中学校)
書記：白石 洋子(神奈川区錦台中学校)
会計：長谷山 秀信(鶴見区新鶴見小学校)
会計：野中 慎一郎(泉区中和田中学校)

会計監査
東 隆幸(特別支援学校部会 盲特別支援学校)
佐々木 健一(高等学校部会 金沢高等学校校長)

新年度をむかえて



横浜市PTA連絡協議会
会長 秋好直樹
(泉区下和泉小学校)

日頃より市P連の活動にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

この1年を振り返りますと、「PTAとその活動は何のためにあるのだろうか?」ということも多くの方が見つめ直すきっかけになったのではないかと感じています。時代や状況に合わせ変えるべきところを変えていくことは、運営に携わる者に与えられた課題と捉えており、今後の取り組みに際し、その課題を念頭に置き活動を進めてまいります。

一方、これまでのPTAの取り組みの価値や意義を再認識したり、あるいは、やり方を工夫すればもっと良いものになる可能性を感じたりする場面も多くなりました。少し楽観的過ぎるとのお叱りを受けるかもしれませんが、これまでに積み上げてきたPTAの力を最大限に生かし、かつ、多くの方との意見交換を通じて、子どもたちの健やかな育ちを支えるための活動を作りたいと考えています。

引き続き、みなさまのお力添えをお願い申し上げます。

2021年度 横浜市PTA連絡協議会総会(書面表決)開催
新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、6月18日に予定しておりました定期総会を、理事会の承認を受け「書面表決形式」にて開催いたしました。ご多用のところ、議決回答へのご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。議案は全て原案どおりに可決承認されました。

2020年度 事業報告・会計決算・監査報告
2021年度 理事候補者案・役員、会計監査候補者案・スローガン案・活動方針案・事業計画(案)・予算(案)

ICT化の波に乗って

上菅田 特別支援学校

小学部から高等部までの12年間を過ごすことが多い特別支援学校。

児童生徒たちは日頃どのような活動をしているのか、上菅田特別支援学校へ取材に伺いました。

コロナ禍におけるPTA活動については、昨年度に先生と保護者にアンケートをとり、活動の内容を見直したひとつに、委員会活動ではなくボランティアを募るかたをとするなど新しい活動に取り組まれたそうです。例年は周辺の方々を招いてのバザーでしたが、今年度は校内の児童生徒向けのイベントに変更し、商品の企画から作成までをPTAと子どもたちで作り上げようという企画。校内でできない作業については、横浜市内にある他の特別支援学校に相談をして、商品を作ることも提案しているとお話を伺い、学校間での様々な交流がされていることを知りました。

同校は、特別支援学校の中でいち早く横浜市のGIGAスクール構想の整備が進み、ICT機器を活用しています。



2020年度キャラクター「ねこたび」

高等部での職業の授業ではそれぞれに合った機器を利用し、先生やPTAから発注を受け、名刺のデザイン作成や印刷、データ入力などの業務を請け負っており、今後の自立にむけて取り組んでいます。コロナ禍において、学校へ来ることが難しい児童生徒たちもオンライン授業に参加していました。また音楽の授業では、先生が弾くピアノのそばにiPadを設置して手元を映し、様々なタイプの車いすに合わせてタブレットを視線の先に置き、見やすいように固定して使っていました。

今の時代だからこそできるICT機器を利用した授業。様々な設備が整う中、子どもたちは個々の苦手分野を機器で補い、新たな活動の幅を広げており、以前とは違った活躍の場と学習技能を大いに活用していました。ICT化の波は特別支援学校の児童生徒たちに大きく押し寄せ、その波に乗るようにならねばならないという思いが、今後の第一歩になると感じました。

そして、上菅田特別支援学校といえば、活動が盛り上がり熱くなるスポーツがあります。それは、パラリンピックの競技にもなっている「ポッチャ」です。

日頃、勝敗を決める経験



ボールと場所があればだれも楽しめる(先生手作りのポッチャボール)

や体験が少ない児童生徒たちが勝ち負けと一緒に感じ、一体感を味わえるこのスポーツは地域交流にも活躍しています。コロナ禍で昨年度より交流は行えていませんが、近隣の小中学校でも大人気です。休校期間中に先生が自宅で子どもたちに楽しんでもらえるように、好きなキャラクターの生地や鈴を入れた手作りのポッチャボールを製作して、貸し出しを行っていました。家族みんなで楽しめそうですので、個人的に購入をした方や、校長室にも貸し出し用のセットが数セット常備されているほどです。

ポッチャは老若男女、障がいがあってもなくても楽しめるスポーツです。機会がありましたらぜひ皆さまも体験してみてください。

先生と保護者はどうしたら子どもたちが自分らしく、社会とともにいきいきと暮らしているのだろうかと考え、寄り添ってともに取り組んでいる姿に共感と感銘を受けました。



児童生徒たちの通学に必要なバス



校内移動に大切な長いスロープ 楽しいトランポリン



交通安全教室にも参加

「ひまわり先生」の活動内容

活動時間は9時半から下校まで。ひまわり柄の黄色いエプロンを着けます。「ひまわり先生」は、担当クラスが決まっています。いつも同じクラスに入ります。1年生が自立して学校生活が送れるようになるよう、授業中の補助(教科の準備、立ち上がる子や困っている子など、支援が必要な子への声掛けなど)や、体育や給食時の準備・片付け・着替え・清掃の補助・下校付き添いなど、支援は多岐に渡ります。

校長先生のお話

「ひまわり先生」は1年生がスタートカリキュラムをスムーズに始めるためには、なくてはならない存在です。一人ひとりの成長は様々で、集団活動に不安を感じている子や困っている子の支援に入ってもらえるのは、とてもありがたいです。

保護者や児童の反応や感想

「ひまわり先生」は担当クラスが決まっているので、子どもたちはひまわり先生と顔見知りになり、安心感を持って学校生活を送ることができそうです。ひまわり先生がいてくれた事が嬉しくて、次年度に参加してほしいと親に願っている子も多いそうです。新1年生の保護者からも、とても感謝されているそうです。



取材日のひまわり先生たち

ひまわり先生が下校時に引率していると、色々な保護者の方に声を掛けられるそうです。1年生の保護者から、どうしたらひまわり先生になれるのか、資格があるのか、など聞かれるそうで、ひまわり先生の存在そのものが、次の担い手を自然と生み出している、そんな素敵なサイクルができていました。

世界に一つだけの特別なエレベーター ~さくサポエレベーター~

学校にエレベーターを設置した場所はどこですか。



桜色(ピンク色)に校舎が塗られているところがエレベーター設置の場所です。

エレベーター利用について子どもたちと決めたルールはありますか?

誰もがいつでも乗れる訳ではなく、ケガをした時や来校された高齢の方など、階段を使うことが難しい時に使います。困っている人を助けるためのエレベーターなので、サポートが必要な時に先生と一緒に利用します。

扉の色には子どもたちの思いが込められています

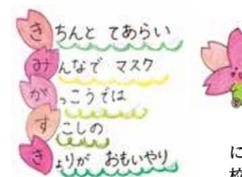


1F 白扉 保健室や給食室を清潔に保ち安心安全な学校生活を送りたい
2F 赤扉 1年生と個別支援学級には元気がいっぱい楽しい学校生活を送ってほしい
3F 黄扉 2年生と4年生には明るく前向きに学校生活を送ってほしい
4F 青扉 3年生と5年生には頼られる学年になってほしい。6年生にはしっかりしたリーダーになってほしい

子どもたちに寄り添い、一緒に歩いて

瀬谷さくら小学校

瀬谷さくら小学校は「自分大さき友達大さき さくらの子」を学校目標として、先生、保護者、地域が協力し、子どもたちにとって安心して楽しい学校生活を送れるように考えています。コロナ禍で相手との距離を離すのではなく相手を使うという気持ちを込めて標語を作りました。



みんなの思いが込められたカラフルな色のエレベーターと、優しい風が爽やかに吹き抜けるような心地よいチャイムの音色で、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っていることが感じられるワクワクがいっぱいの学校でした!

人とのふれあいにぬくもり溢れる 最高のオアシス 上の宮中学校

豊かな緑に囲まれている上の宮中学校。PTA活動では梅の季節に学校内で収穫した梅を漬け込み、文化祭で梅シロップとして生徒や保護者に振る舞われる活動や、七夕やクリスマスなどでは校内をキレイに飾り付けされるなど、数えきれないほどの温かい活動がたくさんありました。

◆地域ぐるみで学校運営支援

近隣の小中学校と共に平成21年からスタートされた「上の宮中学校ブロック(区)学校支援地域本部」※1では、環境整備として校内清掃や昇降口前の花壇の花植えや草取りをされています。取材日もキレイに咲いていました。

1月には3年生を対象に受験面接の練習が行われますが、地域からは講師役の方が参加され、面接に向けての貴重なアドバイスをいただくなど、生徒たちからは「自信につながった」という声が多く聞かれるそうです。

◆COCO(ココ)

2020年度より学校連絡情報共有サービス「COCO(ココ)」が導入されています。電話またはWEBから欠席理由も自動集計される24時間の欠席連絡受付や、学校連絡アンケート機能もあり、教職員と保護者の負担が軽減されていました。

◆スローガン

「all challenge 沢山のことにチャレンジして 最高のオアシス 上の宮を創ろう」 生徒会発案のスローガンを基に、全校生徒自らが工夫しながらよりよい学校生活を目指して、2021年2月24日にいじめをなくそう「ピンクシャツDAY」が実施されました。校長先生からは、「子どもたちは柔軟で豊かな発想力を持っており、目的を意識したうえで「こうすればできるのではないだろうか、こんな工夫をしてみよう」と、みんなで考え、チャレンジして、上の宮中学校を最高のオアシスにしてもらいたいと思います。」とお話をいただきました。人と人とのつながりや支えあう活動が随所にみられ、人の温もりをたくさん感じられるステキな上の宮中学校でした。



校歌の石碑前の花壇



きれいに整備された中庭



美術部が描いたスローガン



授業の準備のお手伝い

◆「ひまわり先生」の始まり

平成23年度に新1年生の教育ボランティアを募集したこと。小学校に入学し、環境の変化に戸惑う子、うまくコミュニケーションがとれない子、着替えやトイレなど身辺自立に補助を要する子などに対して、柔軟な対応、きめ細やかな対応をしていくことで、適切な人間関係を築き、望ましい生活習慣・学習習慣を身に付けられるようにという考えから、学校が児童の保護者から教育ボランティアを募集したのだそうです。

対象は、新1年生の保護者を除く、2年生~6年生の保護者に加え、卒業生の保護者からも広く募集されました。



授業の見守り



体育の授業のサポート

新1年生の学校生活スタートを支える黄色いエプロン 「ひまわり先生」



舞岡小学校

舞岡小学校では、「ひまわり先生」という素敵な取り組みが行われています。新1年生が入学して、学校生活に慣れるまでの約2ヶ月、児童の保護者がボランティアとして、子どもたちをサポートしていく教育支援活動です。

◆「ひまわり先生」へのインタビュー

- 子どもから学校の話は聞いていたが、聞くのと見るのでは全然違う。支援に入ると学校の様子が分かった。家庭での子どもとの会話に深みが出る。
- 兄弟が幼稚園にいる場合など、支援に入る事で、今の1年生がどんなことをしているのかが分り参考になる。
- 先生方が学習指導や生活指導に傾く姿を間近で見て、改めて感謝の気持ちをもった。
- 支援活動は楽しい。子どもたちに顔を覚えてもらい「〇〇先生!」と名前を呼んで挨拶してくれるのが、とても嬉しい。
- 1年生になりたての児童には、補助できる人がいるかないかでは、担任も児童も負担が違う。声をかけると児童も安心する。
- 子どもが1年生の時にひまわり先生にお世話になり、お母さんにもひまわり先生をやってほしいとお願いされ登録した。子どもは自分の親が学校にいることが、とても嬉しそう。

そごう美術館 夏休みは“そごう美術館”に行こう! 東京藝術大学スーパーパークローン文化財 謎解き「ゴッホと文化財」展 横浜市立学校PTA関係者 特別鑑賞券 2021年7月31日(土)~8月31日(火) 会期中無休 10時~20時 ※8月18日(水)は19時閉館

Super Clone Cultural Properties 最先端技術が描く、名作の未来 謎解き「ゴッホと文化財」展

2021年4月開校 学校法人恭敬学園 横浜芸術高等専修学校 マンガイラストコース 美術コース 声優コース

神奈川士建 安心の住まいづくりは地元の建設組合へ 全県20支部45年の信頼と実績 この町に暮らしこの町で働く 神奈川士建は建設の仲間です

横浜市P連 子ども総合保障制度 当制度は、児童生徒のケガや賠償事故等、日常生活に想定される様々なリスクに対応した総合保障制度です。このご案内は、制度の概要を説明したものです。

2020年度横浜市PTA広報紙コンクール受賞校と作品講評

2020年度横浜市PTA広報紙コンクールに応募された作品の中から次の作品が選ばれました。小中学校の会長賞受賞10作品は、日本PTA全国協議会「全国小中学校PTA広報紙コンクール」に横浜市PTA連絡協議会代表として推薦いたしました。コロナ禍において各学校の様子がとても良く分かる作品が多く見られました。ご応募ありがとうございました。なお作品講評は、神奈川新聞社にお願いいたしました。(広報委員長賞のみ広報委員長講評)



◆ 神奈川新聞社賞 会長賞

◆ 荏田南小学校(都筑区)

「スクラム」

コロナ禍、登校再開での学校の取り組みに目を開かれた。健康観察、手洗い、授業、休み時間と丹念に取材して「お願い」を付すなどPTAの陰ながらの支えを再認識させられた。「安全・安心」を地でゆく作りに保護者らの熱い想いが感じられる。特集テーマが多岐にわたり専門性がある。大変な時代に5回発行の意気込みにも敬服。



◆ 広報委員長賞・奨励賞

◆ 日限山小学校(港南区)

「日限山の風」

PTA活動への理解を深めてもらえるような内容であったことを評価いたしました。発行回数も多く評価に値すると思えますが、内容により大きな魅力を感じました。多彩な活動もされていることが理解できる上に、その報告に留まらず、通り一遍の内容ではなく、PTA活動を理解してもらおうとする意図がこたも感じられました。きっと素晴らしいPTA活動をされているのだらうなと想像できました。



◆ 会長賞

◆ 中丸小学校(神奈川区)

「なかまる」

行事の縮小、中止と異例すくめの環境に萎縮せず、元気づけ、創意工夫を凝らした楽しい紙面を届けることができた。写真の合成も愉快。「祝一金メダル」は、子どもたちの独創性が楽しめた。コロナ対策も時宜にかなった。



◆ 富士見台小学校(西区)

「芙蓉峰」

子どもたちの手書き文字でデザインしたクラスごとの見開きページにインパクト。学年ごとのページも見応えがある。表紙もいい。学校と地域のつながりを象徴したワッペン展開に思いが伝わる。みことな一年の集大成となった。



◆ 新吉田第一小学校(港北区)

「はやぶちこぼし」

「新しい生活様式とは？」や教職員紹介の「おうち時間の楽しみ方」は「コロナ時代に読まれる企画。リモート合奏の裏話や「まめ知識」の運動会「青組vs緑組」「ノーチャイムの秘密」も気付きが秀逸。表紙も統一感があり美しい。



◆ 都田西小学校(都筑区)

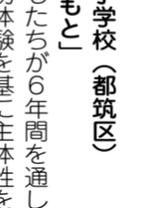
「あじのそと風」

「登下校の安全見守り」は、学校が地域に開かれ、支えられていることを実感できるいい紙面で、地図に写真を配したレイアウトも効果的だった。

◆ 折本小学校(都筑区)

「おりもと」

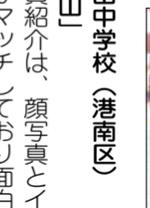
子どもたちが6年間を通して、成功体験を基に主体性を育てていくという同小の教育を紹介した特集は、さまざまな具体例を引きながら記事と写真で読ませる内容だった。「秘密」を聞いた先生紹介も素顔が垣間見えて楽しかった。



◆ 日限山中学校(港南区)

「日限山」

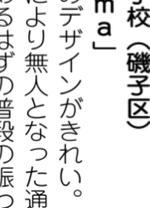
教職員紹介は、顔写真とイラストがマッチしており面白くできた。写真をとにか多く用いたアルバムのような作りでわかりやすく生徒の学校での活動を伝えた。文字も少なめでとにか見せることに徹した。



◆ 浜中学校(磯子区)

「Hana」

表紙のデザインがきれい。コロナにより無人となった通学路にあるはずの普段の賑わいを重ねたのだろうか。印象的で考えさせられた。一転、春号では生徒たちの楽しそうな様子が伝わる。生徒たちや参加者の表情がどれもいい。



◆ 十日市場中学校(緑区)

「十日市場中」

合唱の代わりにクラス毎に

テーマを決めたというステップが目を引く。コロナを乗り越えた明るい未来への生徒たちの希求が伝わる。集合写真も色合いがとも映える。直接の観覧はかなわなかったが生徒たちの頑張りが見えてくる。



◆ あかね台中学校(青葉区)

「あかね台」

学級旗が迫力満点。個性あふれ、担任の先生からのコメントもクラスらしさが出ていてよかった。材料がない中で、職業講話、教育実習、ランチタイムなど学校の様子を保護者に伝えるべく手堅くまとめている。



◆ 金沢高等学校(高等学校部会)

「金澤高校PTA会報」

パズルのピースのように写真を組み立てた丁寧な作業は、保護者が知りたい学校でのわが子の様子を事細かに映し出した。「コロナ禍こそ想像力で前に進もう」は、生徒や学校を勇気づける啓発となったと思う。



◆ 奨励賞

- 西寺尾小学校(神奈川区)
- 本町小学校(中区)
- 南吉田小学校(南区)
- 山内小学校(青葉区)
- 中田小学校(泉区)
- 寺尾中学校(鶴見区)
- 汲沢中学校(泉区)
- 港南台ひの特別支援学校(特別支援学校部会)

日本PTA全国協議会2020年度「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩

〜家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ〜

市P連推薦2作品が小学生の部で佳作を受賞しました。

大滝 一颯

「もう重いよ」って言われるけど あったかいからやめられない。おばあちゃんになったら今度は 私がおんぶするね。

利根川 怜音

オレの父ちゃん最強だ。いなくてもオレのことをいつも空から見守ってくれている。だからオレの心も最強だ。

神奈川県環境農政局

かながわ地球環境賞受賞

茅ヶ崎東小学校PTA(都筑区)

米作り体験のサポートを通じ、児童が米作りの知識を深め、農業や食に対して自分の考えを持つことにつながっていること、自然環境の保全や農業に従事する方には安全な食生活への思いがあることを児童に理解させていることが表彰されました。おめでとうございます。

2021年度 優良PTA表彰校

各区部から推薦され、表彰されました。おめでとうございます。

- 浦島小学校PTA(神奈川区)
- 万騎が原小学校PTA(旭区)
- 東本郷小学校PTA(緑区)
- 櫻が丘小学校PTA(青葉区)
- 元石川小学校はぐくみの会(青葉区)
- 南山田小学校児童の保護者と教職員の会(都筑区)
- 東汲沢小学校PTA(戸塚区)
- 本郷台小学校PTA(泉区)
- 岩井原中学校PTA(西区)
- 鶴ヶ峯中学校PTA(旭区)
- 希望が丘中学校PTA(旭区)
- 十日市場中学校PTA(緑区)
- あかね台中学校PTA(青葉区)
- ろう特別支援学校PTA(特別支援学校部会)

編集後記

発行部数27万部の「PTAよこはま」を市内各区部から集まった保護者38名が協力し合い、丁寧に取材をし興味を持って読んでほしい！という思いで記事を書き、一からつくりあげました。是非多くの方々にご一読いただけたら嬉しいです。取材にご協力いただいた皆様、一年間共に活動した広報委員の皆様にご心より感謝申し上げます(TK)

- 2020年度常置広報委員
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------------|------------|-------------|------------|-------------|--------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|
| 1班 | 萩生田祐子(西区) | 浅野香織(西区) | 河野愛子(中区) | 大塚水恵(中区) | 新井朋子(保土ヶ谷区) | 喜多井美保(保土ヶ谷区) | 齋藤静香(旭区) | 清水愛(旭区) | 山本麻里(港北区) | 酒向信司(港北区) | 水野恵子(緑区) | 石川亜紀子(緑区) | 橋本志穂(戸塚区) | 足達美砂子(戸塚区) | 川村由紀子(都筑区) | 加川友恵(都筑区) | 古賀聖子(瀬谷区) | 大塚美季(瀬谷区) | 片山幸子(特別支援) | 豊田美恵子(特別支援) |
| 2班 | 伊佐理英子(鶴見区) | 荒井沙弥香(鶴見区) | 中里奈緒美(神奈川区) | 岩崎智子(神奈川区) | 藤南佳江(南区) | 山田智久(南区) | 宮尾巴香(港南区) | 小宅百代(港南区) | 蓬田研(磯子区) | 溝口有樹香(磯子区) | 水井珠美(金沢区) | 大津麻子(金沢区) | 村上教子(青葉区) | 金澤道代(青葉区) | 堀田みき(泉区) | 堀田毅(泉区) | 荒祐子(泉区) | 田村尊子(泉区) | | |